

G

Rotary International District 2530 / 2019 / JUL

GOVERNOR'S



MONTHLY LETTER ガバナー月信 ● 2019年 ● 7月号 ● Vol. 1



「福島市－磐梯吾妻スカイライン／初夏」(撮影：福島しんたつ RC 池田卓也会員)

CONTENTS

RI 会長メッセージ	2	地区資金予算書	8
ガバナーメッセージ	3	ガバナー補佐方針	10
2019-20年度 地区活動目標	4	2019-20年度 地区研修・協議会報告	12
2019-20年度 地区運営方針	5	地区関係行事予定 (2019)	14
地区幹事抱負	5	2019-20年度 地区大会のご案内	16
2019-20年度 地区組織図	6		



国際ロータリー第 2530 地区 2019 - 20年度 ガバナー 芳賀 裕
 ガバナー事務所 〒960-8131 福島市北五老内町1番 3号福島法曹ビル 501 号室
 TEL024-563-4601 FAX024-563-4566 E-mail:ri2530-haga@ri2530.com

RI 会長メッセージ

ロータリーは世界をつなぐ

2019-20年度 国際ロータリー会長

マーク・ダニエル・マローニー



ロータリーの礎は「つながり」です。若い弁護士としてシカゴにやって来たポール・ハリスがロータリーを創設した最大の理由、それは見知らぬ街ではほかの人たちと「つながる」ことでした。それから1世紀以上が経った今、私たちの周りには、ポール・ハリスの時代には想像もできなかったような友情とネットワークを築くための方法が数多く存在します。それでも、ロータリーにおける「つながり」は独特であり、ほかに類を見ません。

国際ロータリーには、地域社会とつながり、職業のネットワークを広げ、強く末永い関係構築ができる確固とした使命と構造があります。会員による数多くのプロジェクトやプログラム、ポリオ撲滅活動におけるロータリーのリーダーシップ、国連との協力などを通じ、私たちはグローバルコミュニティとつながっています。私たちの奉仕活動は、同じ価値観を共有し、より良い世界のために行動したいと願う人びとの結びつきをもたらします。また、ロータリーがなければ出会うことがなかった人びと、共通の考えを持った人びと、私たちの支援を必要とする人びととつながり、世界中の地域社会で人生を変えるような活動を行うことを可能にしています。

21世紀の新たな10年の始まりに、私たちはロータリーの未来を形作っています。2019-20年度、ロータリーは新しい戦略計画を実行に移し、規定審議会が採択した革新性に応え、より活性化された重点分野

において活動します。しかし、ロータリーの未来を形作る本当の場所はクラブです。刻々と変化する現実に対応するために、ロータリーはクラブに注力していかなければなりません。

クラブはロータリーでの経験の中心部ですが、今ではクラブのあり方をより創造的かつ柔軟性をもって決めることができます。これには例会の方法や、何をもって例会とするかを検討することも含まれます。会員増強のアプローチにおいては、組織立った戦略的・革新的な方策が必要です。そうすることで、地域社会とのより広く、深いつながりができるだけでなく、より多様な会員に魅力を感じてもらい、積極的な参加を促すことができるでしょう。

実際のところ、ロータリーは家族です。そうであるにも拘らず、会員組織の構造やリーダーシップの要求などがあることで、今日の若い職業人にとってはロータリーが手の届きにくい存在となっているようです。ロータリーは、家族との時間を犠牲にするのではなく、家族との時間を補うような経験を提供する場である必要があります。クラブが温かく、みんなを受け入れるような雰囲気があれば、家族と奉仕活動は両立でき、家族志向の若い職業人にロータリー奉仕や市民としての参加の機会を提供できます。また、ロータリーの役職に対する期待事項を、多忙な職業人に合わせて現実的かつ管理可能なものとすることで、将来ロータリーのリーダーとなる次世代のロータリアンのスキルを高め、ネットワークを築くことができるでしょう。

2019-20年度には、「ロータリーは世界をつなぐ」のテーマの下、ロータリーの奉仕を通じて、有能で思慮深く、寛大な人びとが手を取り合い、行動を起こすためのつながりを築いてまいりましょう。

RI 会長プロフィール

Mark Daniel Maloney (マーク・ダニエル・マローニー)

2019-20年度会長 Decatur ロータリークラブ

アラバマ州 (米国)

税法、遺産、農業法を専門とする Blackburn, Maloney, and Schuppert 法律事務所の社長であるマローニー氏は、米国南東部・中西部の大手農場経営者の顧問弁護士であるほか、米国弁護士協会の農業関係委員会の委員長を務めています。また、米国弁護士協会とアラバマ州弁護士協会、アラバマ州法律協会の会員です。

地元ジケーターでも熱心に活動し、自身が所属する教会の財務委員長と地元カトリック学校理事長のほか、Community Foundation of Greater Decatur 会長、Morgan County Meals on Wheels 会長、United Way of Morgan County 理事、Decatur-Morgan County 商工会議所の所長を務めています。

1980年にロータリークラブ入会し、以来、RI 理事、財団管理委員と副管理委員長、ジョナサン・マジニアベ2003-04年度会長のエイドを務めました。また、規定審議会の議長と副議長、運営議事手続きの専門家、研修者のほか、2004年大阪国際大会委員会のアドバイザー、2014年シドニー国際大会の委員長も務めました。

ガバナーとなる前には、研究グループ交換のリーダーとしてナイジェリアに赴いた経験もあります。

ロータリー財団関連では、未来の夢委員長、ロータリー財団地域コーディネーター、財団研修セミナーのモデレーター、恒久基金米国アドバイザー、平和センター委員、WASH (学校での水・衛生) 委員会のアドバイザーを歴任しました。

同じ法律事務所の弁護士であり、ジケーター・ロータリークラブの元会長でもあるガイ夫人とともに、ポール・ハリス・フェロー、メジャードナー、遺贈友の会員となっています。

ガバナーメッセージ

親愛なるロータリアンの皆様へ

～なぜ、ロータリークラブに入会されたのですか？～

国際ロータリー第2530地区
2019-20年度ガバナー

芳賀 裕



2019-20年度国際ロータリー第2530地区のガバナーを務めさせていただきます福島中央RC所属の芳賀裕です。1年間よろしくお願ひ申し上げます。

今年度の国際ロータリーのテーマは「ロータリーは世界をつなぐ」です。

また、RI新戦略計画の年次目標が「人びとをつなぐ」「行動する」とされているところから別掲のとおり、当地区の活動目標と活動方針を決めさせていただきました。

今月から、それぞれのクラブを訪問させていただき皆様と今年度の活動についてお話をさせていただくことを楽しみにいたしております。

さて、最初のロータリークラブの会合は、1905年2月23日木曜日の夜、シカゴのユニティ・ビル711号室で開かれました。ポール・ハリスは、シルベスター・シール、ガスターパス・ローア、ハイラム・ショーレーを前に、「私たちが皆かつて田舎町で味わった相互協力と打ち解けた親睦、という非常に単純な構想を基本とするクラブ」の結成を提案しました。この4人をオリジナルメンバーとし「互惠取引と親睦」を基本に出発したロータリーは、それから114年の間、その時々には先見の明と行動力のある多くの指導者の下、様々に変化をしながら世界に広がり続け、現在世界200以上の国と地域に約35,700クラブ、約121万人の会員を擁する職業倫理を重んずる実業人、専門職業人の集まりに発展いたしました。

日本においては、シカゴロータリークラブ創立から15年後の1920年10月20日、米山梅吉氏が会長となり東京ロータリークラブが設立され、来年2020年に

100周年を迎えます。

そして当地区では、1936年6月8日に設立された郡山ロータリークラブを筆頭に65クラブがそれぞれの活動を積み重ねつつ、その歴史を刻んでおられます。

ところで、あなたは、なぜロータリークラブに入会されたのですか？

「社会を変えてやろう」、「世界で良いことをしよう」と考えて入会された方はおられますか。多くの方は、知り合いのロータリアンから誘われて、「友人をつくりたい」、「仕事のネットワークを広げられるかもしれない」等と考えながら入会されたのではないのでしょうか。

入会されてから、ロータリーの活動を通して数々の人びととの出会い、心に残るロータリーの体験をされていくことで、ロータリーの影響がゆっくりと広がり、あなた自身に徐々に変化を起こし、単なる会員からロータリアンに変わってきたのではないのでしょうか。

しかし、当地区においても折角入会したが、ロータリーをよくわからないままに、退会する人が多い傾向が続いていることは大変残念なことです。退会された方は感動を味わう機会に恵まれなかったのかもしれませんが、私たちは、もう少し、そのような会員にロータリーを知る機会を提供できていたら、と悔まれます。

仕方なく入会された方もおられるかもしれませんが、ご縁があって入会されたのですから、まずは一つロータリー活動に積極的に参加されることをお勧めします。そして、心に残るロータリー体験をすることによって、ロータリーが好きになり、やがて自分の人生が豊かになっていくことに繋がっていく、そんなロータリーライフになるよう支援したいと考えております。

8月は、会員増強・新クラブ結成推進月間になります。会員基盤の維持と強化を図るため、今月から8月のクラブ活動を計画してみましましょう。

ロータリーの礎は「つながり」です。

さあ、皆さん、一緒にロータリーを楽しみましょう！

ガバナープロフィール

- 氏名 芳賀 裕 (ハガ ユウ)
- 生年月日 1952 (昭和27)年2月11日
- 所属クラブ 福島中央ロータリークラブ
- 職業分類 司法書士
- 事業所名 ロアフォルジュ司法書士事務所
- 役職 所長
- 勤務先住所 〒960-8115 福島市山下町2番8号
TEL 024-535-8557 FAX 024-535-8562
E-mail : haga@w7.dion.ne.jp
- 自宅 〒960-8156 福島市田沢字桜台34番地の12
TEL・FAX 024-549-0810
- 最終学歴 1974年3月
明治大学法学部法律学科 卒業

ロータリー歴

- 1990年5月16日 福島中央ロータリークラブ創立会員
- 1999-00年 クラブ第10代会長
- 2001-02年 地区 青少年交換小委員会委員
- 2002-03年 地区 県北一区 ガバナー補佐
- 2003-05年 地区 クラブ奉仕委員会委員長
- 2005-07年 地区 新世代委員会 委員長
- 2012-13年 地区 RI規定検討委員会委員
- 2014-15年 地区 職業倫理委員会 委員
- 2015-17年 地区 青少年奉仕委員会委員長
- 2017-18年 ガバナーノミニ
- 2018-19年 ガバナーエレクト
- PHF、米山功労者、ベネファクター
- PHS会員、メジャードナー

2019-20年度 地区活動目標

～東日本大震災から10年目、2020オリ・パラ（復興五輪）を底流として～

本年度のRIテーマ「ロータリーは世界をつなぐ」と年次目標に沿い、以下の当地区活動目標を定め、ガバナーを中心に、各クラブとガバナー補佐・各地区委員会が密接に連携し、「世界で、地域社会で、そして自分自身の中で持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世界」を目指して活動してまいります。

また、2020年3月11日には、東日本大震災から10年目に入ります。そして「復興オリンピック」の聖火リレーが3月26日に福島県から出発する記念すべき特別な意味を持つ月となります。この3月に、当地区において、世界から寄せられたご支援に対しあらためて御礼を申し上げるとともに、被災時の対応等を振り返り、併せて復興しつつある被災地の現況や未来への希望を発信する「復興フォーラム（仮称）」を、各分区からの実行委員を中心に企画・開催をしていただき、未来に向けて当地区ロータリアンの決意を表明し、当地区からロータリーの心を世界に発信し「ロータリーは世界をつなぐ」を体現したいと考えております。

以上、各クラブ、会員の皆様のご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。

1. 人びとが手を取り合うのを促そう。

①会員基盤の維持と強化を図ろう。

地区会員数を2530名へ！

- 各クラブ5%純増（最低1名）
- 各クラブ会員維持率1ポイントアップ（退会防止）
- 各クラブ出席率90%以上（メイクアップもしよう）

②若い世代のリーダー（IAC, RAC, 学友等）と活動しよう。

- 各クラブは、共同活動を1回以上行おう（他クラブとの共同も）。
- 各クラブは、RYLAへ若者を1名以上参加させよう。

2. 行動しよう。

①ロータリー財団への理解を深め、地区財団活動資金（DDF）を活用しよう。

- 年次基金 1人 150\$
- ポリオ撲滅 1人 30\$
- 恒久基金に各クラブからベネファクター1名以上
- 各クラブは、新たな奉仕プロジェクトに挑戦しよう。

※ロータリーデー（2月23日）、世界ポリオデー（10月24日）前後に

各クラブで、「世界を変える行動人」、「ポリオ撲滅」キャンペーンを、1回以上行おう（他クラブとの共同も）。

②米山記念奨学会への理解を深め、協力しよう。

- 普通寄付 1人 5,000円
- 特別寄付 1人 10,000円

3. ロータリー賞へ全クラブで挑戦しよう。

RI新戦略計画（5ヵ年）の優先事項（2019-20年度RI年次目標）を具体化したものがロータリー賞の達成項目です。

各クラブは、これらを1年間かけて実践し、ロータリークラブセントラルにへ入力しよう。

4. あの時（2011年3月）、これまで、そして未来を考えよう。

「復興フォーラム（仮称）」への支援と協力

2019-20年度 地区運営方針 ～地区活動目標の実現に向けて～

1. ロータリーの奉仕を通じて、有能で思慮深く、寛大な人々が手を取り合い、行動を起こすためのつながりを築いていくために、会員基盤の維持と強化を図ろう。
2. 公共イメージを向上させよう（あなたがロータリー！）。
3. 会員研修の充実を図ろう（RI 新戦略計画と中核的価値観の理解と実践）。
4. 青少年奉仕活動に参加しよう。
5. ポリオ撲滅へ取り組もう（END POLIO NOW）。
6. ロータリー財団への理解を深め、地区財団活動資金（DDF）を活用しよう（地域社会で持続可能な良い変化を生むために）。
7. 米山記念奨学会への理解を深め協力しよう。
8. ロータリー賞へ全クラブで挑戦しよう。
9. あの時（2011年3月）、これまで、そして未来を考えよう。
「復興フォーラム（仮称）」への支援と協力

地区幹事抱負

地区幹事 安藤 正道（福島中央 RC）

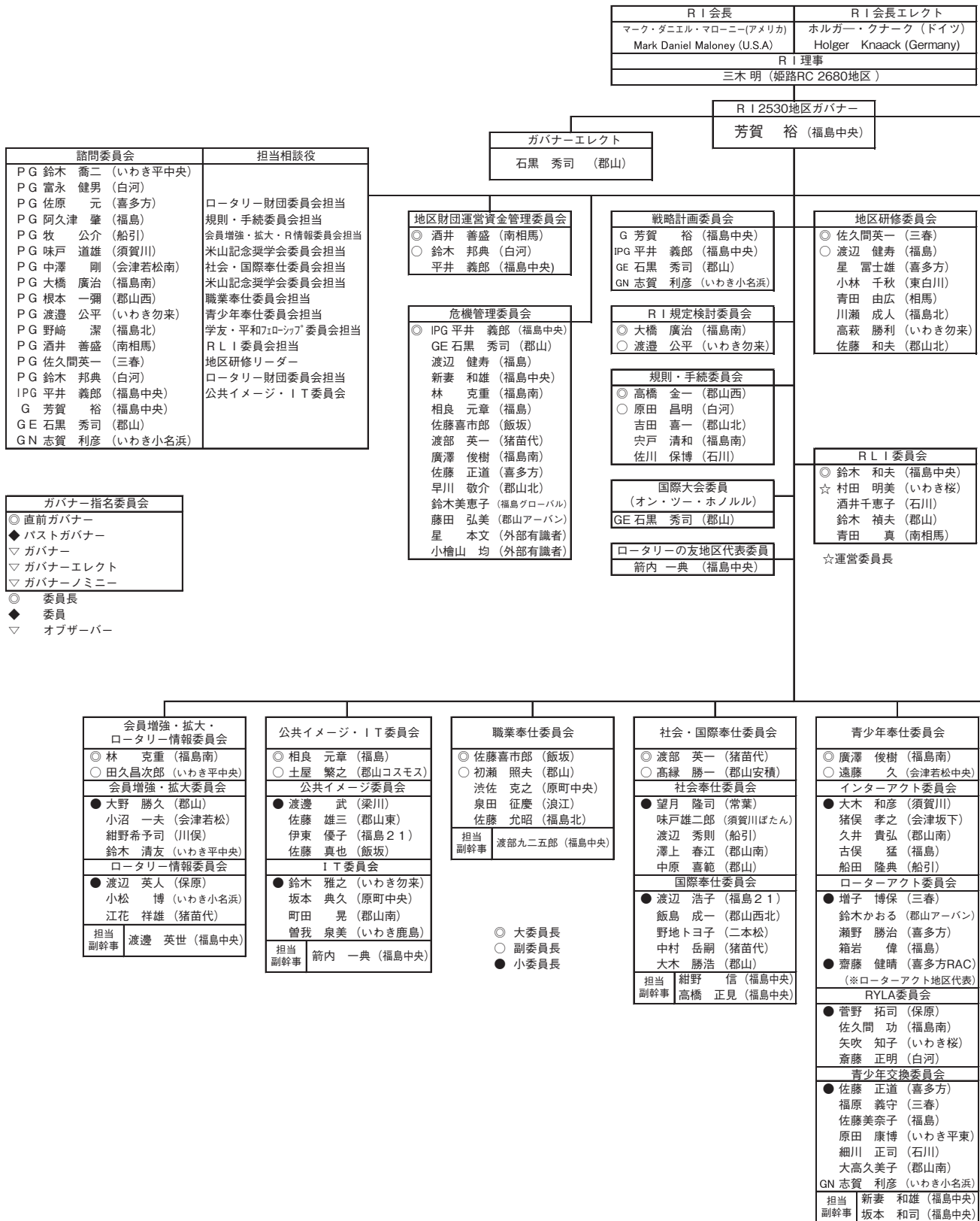


福島中央ロータリークラブは、昨年度の平井義郎ガバナーと今年度の芳賀裕ガバナーと2年続けてガバナーを輩出することになりました。そのような状況にあり、私は芳賀裕ガバナーがノミニー及びエレクトの時から地区の事業を見たり参加する機会があり勉強をしたつもりでしたが、今年に入りエレクトが行う事業が具体的に動き出すとその事業を行うためには準備に相当な時間を費やし、又いろんな調整が必要な事も解り、地区幹事の任の重さをつくづく実感している所です。特に芳賀ガバナー年度は例年に無い事業が二つあり、一つは2019年8月に国際ロータリー2019-20年度会長のマーク・ダニエル・マローニー氏が福島を訪問しますので、その時に被災地の視察と歓迎晩餐会を開催する事。もう一つは2020年3月には東

日本大震災から10年目に入り、またオリンピック（復興五輪）の聖火リレーが福島県からスタートする時となり、福島からロータリーの心を世界に発信する事業として復興フォーラムを開催する事しております。

これから多忙な一年にはなりますが、芳賀ガバナーは長年地区の委員等を務め、ロータリーを勉強し熟知しており、ガバナーとしてのビジョンと強いリーダーシップをお持ちですので、地区幹事として地区の運営や事業が円滑に進められるよう粉骨砕身頑張っていくつもりですので、会員皆様のご理解とご支援、ご協力をどうぞよろしくお願い致します。

2019-20年度 地区組織図



ガバナーノミニ
志賀 利彦 (いわき小名浜)

副ガバナー
鈴木 邦典 (白河)

規定審議会代表議員	PG 大橋 廣治 (福島南)
ポール・ハリス・ソサエティ・コーディネーター	PG 野崎 潔 (福島北)
(一社)国際ロータリー-日本青少年交換多地区合同機構 社員	PG 野崎 潔 (福島北)
公益財団法人ロータリー-米山記念奨学会理事	PG 大橋 廣治 (福島南)
公益財団法人ロータリー-米山記念奨学会評議員(9月～)	PG 渡邊 公平 (いわき勿来)
ロータリー-文庫運営委員	PG 渡邊 公平 (いわき勿来)

分区	中央分区	県北第一分区	会津分区	いわき分区	県北第二分区	県南分区	相双分区	県中分区
ガバナー補佐	小野塚昇一 (郡山安積)	遊佐 金一 (二本松)	齋藤 純一 (会津若松西)	上村 直人 (いわき常磐)	西川 博美 (福島しんたつ)	中野 義照 (石川)	伊藤 公明 (浪江)	白岩 薫 (船引)
クラブ名 会長名	郡山	福島	会津若松	いわき平	飯坂	白河	原町	本宮
	関根 信	右近 八郎	佐藤 典祐	阿部 弘行	千葉 政行	田代 行孝	幕田 正高	角田 恒雄
	郡山西	二本松	喜多方	いわき小名浜	福島北	須賀川	相馬	三春
	堀江 正喜	太田 英晴	高橋 周	正木 好男	鈴木 宏幸	田代 直也	荒井 利昌	橋本 国春
	郡山東	福島南	会津若松西	いわき勿来	保原	東白川	浪江	常葉
	根本 一男	鈴木 光一	仙波 弘行	木幡 智清	木幡 睦人	大森 哲司	重富 秀一	村越 丈博
	郡山南	福島西	猪苗代	いわき内郷	福島東	石川	富岡	滝根
	佐久間源三郎	相澤 隆	渡部 源衛	国井 好夫	大野 直孝	渡邊 忠栄	坂本 栄司	先崎 温容
	郡山北	福島中央	会津坂下	いわき常磐	梁川	矢吹	原町中央	船引
	渡辺 勝	穴戸 宏行	藤田 保彦	佐久間守人	秋葉 洋	横山 栄子	藤原 広幸	佐々木 俊雄
	郡山西北	二本松あだたら	田島	いわき平東	川俣	白河西	南相馬	小野
	町田 敦	安部 敏弘	馬場 隆一	篠原 福一	池田 義寛	中目 公英	岡田 義則	中原 貞一
	郡山安積	福島21	会津若松南	いわき四倉	だて西	須賀川ぼたん		
	大川原利信	本柳 春男	佐藤 浩司	佐藤 則子	阿部 真樹	安田 長蔵		
	郡山アーバン		会津若松城南	いわき平中央	福島しんたつ	白河南		
采女 真弓		村崎 雅彦	大平 守彦	斎藤 俊雄	難波 恭二			
郡山コスモス		喜多方中央	いわき鹿島					
平原 憲		佐藤 一志	上遠野 裕					
福島グローバル		会津若松中央	いわき桜					
佐藤覇者頼人		井関 松夫	伊藤 繁美					
分区幹事	郡山安積 伊藤 重幸	二本松 内藤哲太郎 濱崎 広志	会津若松西 柳橋 幸生 佐藤 榮朗	いわき常磐 矢内 忠	福島しんたつ 山田 稔 先崎 良博	石川 西牧 丈夫 矢吹 雅弘	浪江 吉田 政輝 泉田 征慶	船引 矢内 好男

地区幹事
安藤 正道 (福島中央)

地区代表副幹事
筋内 一典 (福島中央)

地区副幹事
渡部 九二五郎 (福島中央)
新妻 和雄 (福島中央)
紺野 信 (福島中央)
佐藤 和子 (福島中央)
坂本 和司 (福島中央)
高橋 正見 (福島中央)
梅津 寿光 (福島中央)
大出 隆秀 (福島中央)
渡邊 英世 (福島中央)
鈴木 和夫 (福島中央)
関根 信 (郡山)
菅野 秀士 (郡山)

地区資金委員会
◎ 鍛冶 輝雄 (福島中央)
○ 大出 隆秀 (福島中央)
長谷川好美 (福島中央)
福島 佳之 (郡山)

会計監事
今井 明 (福島中央)
佐藤 晃子 (福島中央)
佐藤 信雄 (福島中央)

月信委員会
◎ 穴戸 宏行 (福島中央)
○ 菅野 浩司 (福島中央)
立花 志明 (福島北)
有賀 隆宏 (郡山)

地区大会実行委員会
◎ 実行委員長 多田 司朗 (福島中央)
○ 副実行委員長 斎藤 高紀 (福島中央)
梅津 寿光 (福島中央)
本間正一郎 (福島中央)
● 大会幹事 佐藤 龍史 (福島中央)

地区研修・協議会実行委員会
◎ 実行委員長 熊坂 友好 (福島中央)
○ 副実行委員長 梅津 寿光 (福島中央)

ロータリー-財団委員会	
◎ 早川 敬介 (郡山北)	
○ 星 宏一 (喜多方中央)	
補助金委員会	
● 大野 順道 (福島南)	
中西總一郎 (浪江)	
梅津 寿光 (福島中央)	
資金推進・ボリオ委員会	
● 青木 謙二 (南相馬)	
佐藤 悦夫 (福島東)	
矢内 好男 (船引)	
横山りつ子 (福島南)	
財団資金管理委員会	
● 川又 輝之 (三春)	
佐藤 聡 (郡山)	
佐藤 宗弘 (福島西)	
担当副幹事	梅津 寿光 (福島中央)

学友・平和フェロシップ委員会	
◎ 鈴木美恵子 (福島グローバル)	
○ 渡辺 章 (二本松あだたら)	
吉田 佳代 (いわき桜)	
大越 彰 (須賀川)	
担当副幹事	梅津 寿光 (福島中央)

米山記念奨学会委員会	
◎ 藤田 弘美 (郡山アーバン)	
○ 阿部 光司 (郡山西北)	
米山記念奨学会推進委員会	
● 一條 浩孝 (福島南)	
片桐 栄子 (郡山コスモス)	
岡田 友子 (会津若松南)	
竹下真紀子 (いわき桜)	
米山記念奨学会学友委員会	
● 磯目 基嗣 (会津若松)	
佐藤壯一郎 (二本松あだたら)	
鈴木 弘康 (いわき平)	
米山記念奨学会選考委員会	
● 武島 昭良 (相馬)	
渋川 武彦 (会津若松)	
半澤 泰夫 (福島北)	
担当副幹事	佐藤 和子 (福島中央)

地区資金予算書

収入金額 50,480,000 円
 支出金額 50,480,000 円
 残 額 0 円

地区会員数 2,380名

収入の部

(単位：円)

項 目	前年度予算	本年度予算	増減	摘 要
地区賦課金	35,250,000	35,700,000	450,000	15,000円×会員数
地区大会賛助金	7,050,000	7,140,000	90,000	3,000円×会員数
青少年奉仕助成金	2,820,000	4,760,000	1,940,000	2,000円×会員数
第2530地区災害特別基金	2,350,000	2,380,000	30,000	1,000円×会員数
雑 収 入	0	0	0	
前年度繰越金	500,000	500,000	0	
総 計	47,970,000	50,480,000	2,510,000	

支出の部

(単位：円)

項 目	前年度予算	本年度予算	前年度比増減	摘 要
1. 地区活動資金	19,830,000	22,030,000	2,200,000	
(1) 委員会活動資金	9,990,000	12,100,000	2,110,000	
1 会員増強・拡大・ロータリー情報委員会	300,000	300,000	0	
委員会活動費	300,000	300,000	0	
2 公共イメージ・IT委員会	750,000	700,000	△ 50,000	
委員会活動費	750,000	700,000	△ 50,000	
3 職業奉仕委員会	200,000	200,000	0	
委員会活動費	200,000	200,000	0	
4 社会・国際奉仕委員会	540,000	540,000	0	
社会奉仕委員会	240,000	240,000	0	
国際奉仕委員会	200,000	200,000	0	
その他活動費	100,000	100,000	0	前年度：RIJYEM保険料(48万円)は青少年奉仕へ
5 青少年奉仕委員会	6,810,000	8,750,000	1,940,000	
(a) インターアクト委員会	1,650,000	2,000,000	350,000	
(b) ローターアクト委員会	1,250,000	1,600,000	350,000	
(c) ライラ委員会(青少年指導者育成)	600,000	1,000,000	400,000	
(e) 青少年交換	2,330,000	3,170,000	840,000	
(f) その他の活動費	980,000	980,000	0	青少年活動に関する保険(30+48万円)含む
6 ロータリー財団委員会	350,000	350,000	0	
(a)補助金委員会	100,000	100,000	0	
(b)資金推進委員会・ポリオ	150,000	150,000	0	
(c)財団資金管理委員会	50,000	50,000	0	
(d)その他活動費	50,000	50,000	0	
7 学友・平和フェロシップ委員会	100,000	100,000	0	
委員会活動費	100,000	100,000	0	
8 米山記念奨学会委員会	240,000	240,000	0	
(a)米山記念奨学会推進委員会	60,000	60,000	0	
(b)米山記念奨学会学友会委員会	60,000	60,000	0	
(c)米山記念奨学会選考委員会	60,000	60,000	0	
(d)その他の活動費	60,000	60,000	0	
9 地区研修委員会	200,000	200,000	0	
委員会活動費	200,000	200,000	0	
10 地区運営委員会	400,000	0	△ 400,000	
委員会活動費	200,000	0	△ 200,000	
地区規定・表彰検討チーム	100,000	0	△ 100,000	
地区運営検討チーム	100,000	0	△ 100,000	

項 目	前年度予算	本年度予算	前年度比増減	摘 要
11 危機管理委員会	100,000	100,000	0	
(b)委員会活動費	100,000	100,000	0	
12 規則・手続委員会	0	120,000	120,000	
委員会活動費	0	120,000	120,000	
13 R L I 委員会	0	500,000	500,000	
委員会活動費	0	500,000	500,000	
14 その他の委員会活動資金	0	0	0	
(2) 行事費	9,840,000	9,930,000	90,000	
A 地区大会	7,050,000	7,140,000	90,000	
B 行事補助等	2,790,000	2,790,000	0	
(a)地区研修・協議会	500,000	500,000	0	
(b) I M (分区分補助)	640,000	640,000	0	80,000円×8分区分
(c)ガバナーエレクト歓送会	100,000	100,000	0	
(d)会長エレクト研修セミナー	300,000	300,000	0	
(e)事務担当者セミナー	250,000	250,000	0	
(f)新入会員セミナー	400,000	400,000	0	50,000×8分区分
(g)地区チーム研修セミナー	300,000	300,000	0	
(h)地区指導者育成セミナー	300,000	300,000	0	
2. 地区運営費	20,430,000	21,830,000	1,400,000	
(1) 事務所費	13,350,000	14,750,000	1,400,000	
A ガバナー事務所費	9,350,000	9,350,000	0	
B ガバナーエレクト事務所費	4,000,000	5,400,000	1,400,000	
(2) 会議費	2,490,000	2,490,000	0	
A 諮問委員会	300,000	300,000	0	
B ガバナー補佐会議	650,000	650,000	0	
C ガバナー補佐活動費	480,000	480,000	0	
D 地区委員会総会	900,000	900,000	0	
E 戦略計画委員会	30,000	30,000	0	
F R I 規定検討委員会	50,000	50,000	0	
G 地区財団運営資金管理委員会	30,000	30,000	0	
H 地区幹事等会議	50,000	50,000	0	
(3) ガバナー月信費	3,700,000	3,700,000	0	
(4) 各委員会事務費	540,000	540,000	0	60,000円×9委員会
(5) その他の運営費	350,000	350,000	0	
3. 地区外関係費	3,680,000	3,698,000	18,000	
(1) 基金拠出金	1,410,000	1,428,000	18,000	
A ロータリー連絡運営基金	470,000	476,000	6,000	上期会員数×100円+下期会員数×100円
B ロータリー文庫基金	705,000	714,000	9,000	上期会員数×150円+下期会員数×150円
C 米山梅吉記念館恒久基金	235,000	238,000	3,000	100円×会員数
(2) 地区外会議費	970,000	970,000	0	
A ロータリー研究会	870,000	870,000	0	
(a) 研究会出席補助	700,000	700,000	0	ロータリー研究会出席補助 (G・P・G・G E)
(b) 次年度初頭会議補助	170,000	170,000	0	現・元・次期ガバナー出席
B ガバナー連絡会	100,000	100,000	0	ガバナー会
(3) 特別補助	1,300,000	1,300,000	0	
A 国際協議会出席	700,000	700,000	0	
B 国際大会派遣	400,000	400,000	0	
C 規定審議会出席	200,000	200,000	0	3年間積立
(4) その他	0	0	0	
4. 地区災害特別基金	2,350,000	2,380,000	30,000	
5. 予備費 (次年度繰越金)	1,680,000	542,000	△ 1,138,000	
総 計	47,970,000	50,480,000	2,510,000	

各項目間の流用はガバナーに一任する。

ガバナー補佐方針

中央分区

小野塚 昇一
(郡山安積 RC)



2019-20年度中央分区ガバナー補佐を拝命いたしました小野塚昇一です。

RIテーマ「ロータリーは世界をつなぐ」と年次目標に沿い、当地区活動目標を、ガバナーを中心に各クラブと各地区委員会が密接に連携し、「世界で、地域社会で、そして自分自身の中で持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世界」を目指して活動する事を微力ではありますが、サポートして参りたいと思います。

私の方針としましては、

1、各クラブの小委員会の活性化を図るために、各委員会を開催しロータリーの理解を深めていきたいと思ひます。

2、四つのテストについて

事業及び専門職務に携わるロータリアンの心構えとして、価値ある目標を追い求めるための指針です。さらに、広く一般に、多くの人の倫理的な羅針盤を提供することとして、簡潔かつ確にまとめたものが「四つのテスト」です。是非月1回でなく毎回例会時に唱和して頂きたいと思ひます。

結びに、RIテーマを基に、中央分区のより一層の絆を深めて行きたいと思ひます。

どうぞ1年間宜しくお願ひ致します。

県北第一分区

遊佐 金一
(二本松 RC)



2019-20年度「ロータリーは世界をつなぐ」、このテーマを最初に聞いたとき、とても分かりやすく、あまりにも奥深い事と感じました。県北7クラブには、それぞれ素晴らしい事業が地域に溶け込み育っており、それらの活動や運動を「つながり」を持ちながら大きく成長させて、色々な事にチャレンジしていかなければいけないと考えます。

さらに本年度は、2020東京オリンピック・パラリンピック、更には聖火リレーの福島スタートの準備が本格化します。復興五輪としてこれまで国内は勿論、世界中のロータリアンから頂いた御支援に対する感謝の思いと、本県の復興が着実に進んでいる姿を発信する絶好の機会であります。県北7クラブと連携をしながら確実に先に進めたいと思ひます。

これから、県北7クラブに積極的に足を運び、クラブ会員が笑顔になっていただけるよう、全力を尽くして参ります。皆さんの一層の御支援と御協力をお願い申し上げます。

会津分区

齋藤 純一
(会津若松西 RC)



2019-20年度会津分区ガバナー補佐を拝命しました。誠に光栄である

とともに、その責務の重大さに身の引きしめる思いであります。この一年間、芳賀裕ガバナーを補佐し、クラブと地区の橋渡しとしての役割をもって地区目標の実現を精一杯担ってまいりたいと思ひます。現在、会員増強はロータリーにおいて最優先課題です。ダーウィンは、「種の起源」で、『生き残って栄えるものは、強いものでも、大きいものでもない。環境に適応して自らを変革できるものだ』と記しています。これは生物のみならず組織にも当てはまることです。まさに「不易流行」の視点ではないでしょうか。ロータリーの奉仕の理念である職業奉仕の哲理はロータリー特有のものであり、これを理解し、守り育てていくことこそが死中に活を求めることであると考えます。会員が学びと親睦を通して、ロータリー精神を高め合い、さらには会員皆様の友情の輪が大きく広がり、しっかりと「つながる」ことを切望致します。

いわき分区

上村 直人
(いわき常磐 RC)



今年度いわき分区ガバナー補佐を仰せつかりました、いわき常磐RC所属の上村直人でございます。何分にも微力ではございますが、皆様方の御協力を頂きながら精一杯務めてまいりますのでよろしくお願ひ致します。

芳賀ガバナーが掲げました地区目標の達成に向けた活動を推進し、より多くのクラブが達成出来る様お手伝いが出来ればと思ひます。

分区事業につきましては、いわき分区10クラブの総意のもと、一丸となって活発な活動がとれる様に努めていきたいと思ひます。

また、各クラブの状況や、考え方、要望等を地区へ正確に伝達し、適切なパイプ役を果たし、クラブを支援するための提案や行動を通して、地区とクラブの信頼性がより深まるように活動してまいります。

昨今ロータリーの認知度の低下や、クラブ会員の減少などクラブが抱える問題点が多く存在します。まずは各クラブの皆さんとの連絡を密にし、深い友情のもと、皆さんと知恵を出し合い問題解決に向け一生懸命取り組んで参りますので皆様のご指導ご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

県北第二分区

西川 博美
(福島しんたつ RC)



2019-2020年度、県北第二分区ガバナー補佐を拝命いたしました福島しんたつ RC 所属の西川博美でございます。今年度マーク・ダニエル・マローニーRI会長は「ロータリーは世界をつなぐ」をテーマに掲げ、芳賀裕ガバナーはRIの方針に沿って活動し、8つの地区目標に掲げられた目標はどれも大事なことであり、県北第二分区の会長・幹事は会員と一丸となり、行動し、目標達成に向け活発な活動を展開していただくよう各クラブにお願いする所存でございます。

また、各クラブがより親密に連携し活動目標を達成が出来るように、芳賀裕ガバナーと県北第二分区、会員の皆様との橋渡し役として、補佐としての責務を努めてまいりますのでよろしくお願いいたします。

県北第二分区の会員のみなさん、一年間ロータリーライフを楽しみましょう。

県南分区

中野 義照
(石川 RC)



2019-20年度県南分区ガバナー補佐を務めさせていただきます、石川ロータリークラブ所属、中野義照です。ロータリー歴は27年、職業分類は薬剤師です。

昨年度より、ガバナー補佐は年度が始まる前に3回のガバナー補佐予定者研修セミナーの受講が必修になり、終了致しました。

主な任務は、ガバナーをアシストすることによって担当するクラブの効果的な運営をサポートすることにあると心得、地区とクラブとの橋渡し役としての役割をしっかりと務めたいと思います。そのためには、自分自身がロータリーをよく勉強して、走りながら考え、行動していきたいと思えます。

県南分区は8クラブあり、それぞれのクラブとのコミュニケーションを取りながら、各クラブの特徴を引き出せたらと思えます。

会員の皆様、ご協力よろしく申し上げます。

相双分区

伊藤 公明
(浪江 RC)



本年度、相双分区ガバナー補佐を拝命しました伊藤公明です。

相双分区は、東日本大震災により大きな被害を受けました。私の所属する浪江ロータリークラブも、互いの安否確認・現況報告という形で震災後の例会が始まりましたが、会員数の激減や全国に散らばった会員の利便性を考えた例会場の確保など、数年間はクラブの存続に力を注ぎ、なかなかガバナー補佐を出せずにいました。

8年経った今、多くの皆様に応援していただいたことを忘れず、支え合いの精神のもと、奉仕の理想をさらなる実践の場として地域復興の一助となるよう頑張っていきたいと思えます。

マーク・ダニエル・マローニーRI会長のテーマである「ロータリーは世界をつなぐ」を基本に、芳賀ガバナーが掲げる地区活動目標と運営方針の目標達成に向けて、地域の発展に少しでも役に立つよう務めていきたいと思えます。

今年一年間、どうぞよろしく願いいたします。

県中分区

白岩 薫
(船引 RC)



今年度、県中分区ガバナー補佐を務めさせていただくこととなり、その責務の重大さを実感しているところです。微力ではありますが、全力で任務を遂行する所存ですので、ご指導とご協力の程よろしくお願い申し上げます。

ガバナーの補佐役として、地区活動目標に沿った活動を推進し、分区内の各クラブが、有意義な活動を円滑にできるよう、地区との連携を図り、必要とする情報を的確に伝達、提供して参りたいと考えています。中でも、会員基盤の維持と強化については、明確な目標を設定し、達成に向けた全会員活動にしたいと考えています。また、ロータリー賞の獲得を目指す事にも大いに意義があると思えますので、多くのクラブが獲得できるように推進して参りたいと思えます。

2019-20年度 地区研修・協議会報告



地区幹事 安藤 正道 (福島中央 RC)



2019年5月18日(土)に国際ロータリー第2530地区2019-20年度の地区研修・協議会が、福島市飯坂町のパルセいいざかをメイン会場、分科会はパルセいいざかの他、摺上亭ホテル大鳥、匠のこころ吉川屋、飯坂学習センターを会場として約650人が参加して開催されました。この地区研修・協議会の目的は、次期の各クラブの会長・幹事及び各委員長が就任に先立ちクラブのリーダーシップチームを築けるようにすることと、地区ガバナーエレクト、次期ガバナー補佐、地区委員会の皆がクラブ指導者チームの意欲を喚起し、協力関係を築く機会を提供する事にあります。そしてこの地区研修・協議会は次期クラブ会長になるための義務出席の一つにもなっております。

地区研修・協議会はまず会長・幹事会が9時20分より開催され、開会点鐘、平井義郎ガバナーあいさつ、芳賀裕ガバナーエレクトあいさつがあり議事に入りました。議事は、長谷川好美地区資金

委員長より①1018-19年度地区中期決算報告、②1018-19年度地区大会決算報告があり、続いて安藤正道次期地区幹事より③2019-20年度行事予定が示されました。その後、鍛冶輝雄次期地区資金委員長より④地区賦課金の承認、⑤2019-20年度地区予算(案)承認が上程され、両議案共賛成多数で承認されました。

続いて休憩の後、10時15分より地区研修・協議会の開会セレモニーが行われ、平井義郎ガバナーによる開会点鐘に続き、今回ホストクラブを務めた福島中央ロータリークラブの梅津寿光実行副委員長による開会の言葉、国歌斉唱とロータリーソング(ソングリーダーは坂本和司会員)、熊坂友好実行委員長による実行委員長あいさつ、大出隆秀福島中央 RC 会長からの歓迎のことばがありました。引き続き司会者から講演をいただく講師とパストガバナー、正副リーダーの紹介、そして平井義郎ガバナー、芳賀裕ガバナーエレクト、佐久間英一次期地区研修リーダーからあいさつをいただき、続いて今年度4月にシカゴで開催された規定審議会の報告を規定審議会代表議員である大橋廣治パストガバナーよりして頂きました。その後、第1ゾーンロータリー公共イメージコーディネーター鈴木秀憲様(第2570地区吹上 RC 所属)より「ロータリーって何?」と題してご講演をしていただきました。

その後分科会は12時50分から15時5分まで4つの会場に分かれて行われました。セッションの内容は次の通りです。

会長部会/規則・手続委員会(パルセいいざか)

- ・会長の役割と責務
- ・クラブ運営とリーダーシップ
- ・今後の地区運営について
- ・2019年規定審議会の内容について
- ・RLIとは何か?



幹事部会/地区研修委員会/RLI委員会(パルセいいざか)

- ・幹事の責務、幹事の実務
- ・地区研修委員会の方針と計画1
- ・地区研修委員会の方針と計画2
- ・RLIに参加しよう
- ・RLI委員会を体験して



会員増強・拡大・ロータリー情報委員会(吉川屋)

- ・委員会活動説明、クラブ戦略計画の必要性
- ・2530地区の現状、増強目標
- ・My ROTARY、衛星クラブについて
- ・グループミーティング説明
- ・8分区分かれてグループミーティング



公共イメージ・IT委員会(パルセいいざか)

- ・公共イメージの推進とITの活用
- ・公共イメージ・IT委員会の活動方針と計画
- ・クラブ公共イメージ委員会の運営について
- ・ロータリーロゴマークの適正使用
- ・公共イメージITセミナー・マスコミ懇談会開催について
- ・ロータリーデー・ポリオデーの開催について
- ・My ROTARYの登録推進について
- ・ロータリーセントラルの活用について



職業奉仕委員会(飯坂学習センター)

- ・職業奉仕と私
- ・何故いま職業奉仕なのか
- ・職業奉仕の歴史



社会・国際奉仕委員会(吉川屋)

- ・担当相談役あいさつ
- ・社会・国際奉仕委員長あいさつ
- ・社会奉仕委員会事業計画説明
- ・国際奉仕委員会事業計画説明



- ・社会奉仕事例発表
- ・国際奉仕事例発表

青少年奉仕委員会(摺上亭大鳥)

- ・青少年奉仕の意義と役割
- ・青少年交換とは
- ・RYLAとは
- ・ローターアクトクラブとは
- ・インターアクトクラブとは
- ・2530地区の青少年交換活動
- ・2530地区のRYLA活動
- ・2530地区のローターアクト活動
- ・2530地区のインターアクト活動



ロータリー財団委員会/学友・平和フェロウシップ委員会(摺上亭大鳥)

- ・大口寄付について
- ・PHS(ポール・ハリス・ソサイエティ)について
- ・2019-20年度ロータリー財団委員会の基本方針
- ・寄付を集める活動と寄付を使う活動
- ・ENDPOLIONOWについて
- ・地区補助金申請と報告書提出について
- ・地区補助金の振り込みと残金について
- ・グローバル補助金について
- ・学友・平和フェロウシップ委員会より



米山記念奨学会委員会(摺上亭大鳥)

- ・米山記念奨学会について
- ・推進委員会の事業と協力のお願い
- ・学友委員会の事業について
- ・選考委員会の事業について
- ・(卓話)米山記念奨学生に選ばれて



分科会終了後、また皆様にメイン会場に戻っていただき15時30分より閉会セレモニーが行われました。芳賀裕ガバナーエレクトの御礼のことばの後、地区大会の案内がホストクラブである福島中央ロータリークラブの多田司朗地区大会実行委員長よりあり、また翌2020-21年度に行われる地区研修・協議会の案内がホストクラブを務める郡山ロータリークラブの初瀬照夫会長よりありまし

た。最後に梅津寿光地区研修・協議会実行副委員長が閉会のことばを述べ、平井義郎ガバナーの閉会点鐘で終了となりました。ご参加いただいた皆様に感謝申し上げます。

なお、地区研修・協議会の内容については報告書を各クラブに配布いたしますのでご覧になってください。

地区関係行事予定 (2019)

○印はガバナー公式訪問 ◆印は2020-21年度行事

2019年								
7月		8月		9月				
		会員増強・新クラブ結成推進月間		基本的教育と識字率の向上月間				
1	月	ガバナー事務所開設・第1回ガバナー会議 ロータリーの友委員・友事務所合同会議	1	木		1	日	
2	火	ガバナー公式訪問開始 ○喜多方	2	金		2	月	◆GETS (~3日)
3	水		3	土		3	火	○南相馬
4	木	○会津若松西/会津若松中央(夜)	4	日	R1会長(マローニー氏)来福予定 (~6日)	4	水	○原町中央 ◆DTLS
5	金		5	月		5	木	○原町
6	土	前期地区委員会総会	6	火		6	金	
7	日		7	水	○須賀川ぼたん/白河南(夜)	7	土	
8	月	○会津若松南	8	木	○白河西	8	日	
9	火		9	金	○東白川	9	月	○福島しんたつ(夜)
10	水	○喜多方中央	10	土		10	火	○梁川
11	木	○猪苗代	11	日		11	水	○保原
12	金		12	月		12	木	○飯坂/だて西(夜)
13	土	クラブ研修リーダー会議	13	火		13	金	○福島東
14	日		14	水		14	土	職業奉仕委員会セミナー 米山記念館50周年記念式典
15	月		15	木		15	日	
16	火	○会津若松城南	16	金		16	月	
17	水	○会津若松	17	土		17	火	○福島北
18	木	○会津坂下	18	日		18	水	○川俣
19	金	マスコミ懇談会	19	月		19	木	○郡山
20	土	ロータリー財団セミナー	20	火	○滝根	20	金	
21	日		21	水	○本宮/小野(夜)	21	土	◆ガバナーエレクト 事務所開設披露
22	月	○須賀川	22	木	○三春	22	日	
23	火	○白河	23	金	○常葉	23	月	
24	水	○矢吹	24	土	研修委員会の研修 派遣学生帰国報告会・受入学生オリエンテーション・募集説明(~25日)	24	火	○いわき小名浜
25	木	○石川	25	日		25	水	○いわき勿来
26	金		26	月	県北第二分区IM	26	木	○いわき平
27	土	会員増強セミナー	27	火	○相馬	27	金	○いわき平中央
28	日		28	水	○船引	28	土	日韓親善会議
29	月		29	木	○富岡	29	日	日韓親善会議
30	火	○田島	30	金	○浪江	30	月	○いわき常磐
31	水		31	土	合同セミナー(※) 公共イメージ・IT委員会セミナー			

※社会・国際奉仕委員会、青少年交換委員会、学友・平和フェロシップ委員会、米山記念奨学会委員会合同セミナー

2019年5月10日現在

2019年							
10月			11月			12月	
経済と地域社会の発展月間、米山月間(1)			ロータリー財団月間			疾病予防と治療月間	
1	火	○いわき内郷	1	金		1	日
2	水	○いわき平東	2	土		2	月
3	木	○いわき鹿島	3	日		3	火
4	金		4	月		4	水
5	土		5	火		5	木
6	日		6	水	○二本松	6	金
7	月	○郡山北／福島グローバル(夜)	7	木	○二本松あだたら／福島21(夜)	7	土
8	火	○郡山東	8	金		8	日
9	水	○郡山西	9	土		9	月
10	木	○いわき四倉／いわき桜(夜)	10	日	補助金管理セミナー 船引RC45周年式典	10	火
11	金		11	月		11	水
12	土	派遣学生選考会	12	火		12	木
13	日		13	水	○福島中央 ガバナー公式訪問終了	13	金
14	月		14	木		14	土
15	火	○郡山安積	15	金		15	日
16	水	○郡山西北／郡山アーバン(夜)	16	土	財団地域セミナー	16	月
17	木	○郡山南	17	日	第2回ガバナー会議 ◆GETS	17	火
18	金		18	月	ロータリー研究会	18	水
19	土	地区大会記念ゴルフコンペ	19	火	ロータリー研究会	19	木
20	日		20	水		20	金
21	月	○福島西	21	木		21	土
22	火		22	金		22	日
23	水		23	土		23	月
24	木		24	日		24	火
25	金		25	月		25	水
26	土	地区大会1日目	26	火		26	木
27	日	地区大会2日目	27	水		27	金
28	月		28	木		28	土
29	火	○郡山コスモス	29	金		29	日
30	水	○福島南	30	土	浪江RC 50周年式典	30	月
31	木	○福島				31	火



国際ロータリー第2530地区 2019-20年度 地区大会のご案内

第1日 10月26日(土)
会場：クーラクーリアンテ

- 会長・幹事会
- 地区リーダー研修セミナー

講師 第2650地区 PDG
刀根 荘兵衛 氏
RIJ 日本支部カリキュラム委員長
翻訳委員会事務局
RIJYEM 理事
株塩荘代表取締役社長



- RI 会長代理ご夫妻歓迎晩餐会

第2日 10月27日(日)
会場：パルセいいざか

- 大会本会議
- 記念講演 「夢の実現 ～2020東京五輪で輝く！～」

講師 **宇津木 妙子 氏**
元日本代表女子ソフトボール監督
現日本ソフトボール協会副会長
世界ソフトボール連盟理事



- 大懇親会 会場：摺上亭大鳥



ガバナー 芳賀 裕

2019-20年度マーク・ダニエル・マローニー国際ロータリー会長は、ROTARY CONNECTS THE WORLD「ロータリーは世界をつなぐ」をテーマに掲げられました。ロータリーの奉仕を通じて、有能で思慮深く、寛大な人々が手を取り合い、行動を起こすためのつながりを築いていこう、と呼びかけておられます。

当地区では、今年度、ロータリーの礎は「つながり」との考えに立ち、地区活動目標の中に、「人々が手を取り合うのを促そう」「行動しよう」を据え、各クラブに積極的な活動をお願いいたしております。

この地区大会へ参加されることにより、新しい出会いや発見を体験し、私たちの奉仕活動が、同じ価値観を共有し、より良い世界のために行動したいと願う人々の結びつきをもたらすことに気づく有意義な機会となり、さらなる「つながり」を深め、今後の当地区のロータリー活動の益々の飛躍につながることを期待いたしております。

ホストクラブ 福島中央ロータリークラブ 実行委員長：多田司朗 副実行委員長：齋藤高紀、梅津寿光、本間正一郎 大会幹事：佐藤龍史

コ・ホストクラブ 福島ロータリークラブ、二本松ロータリークラブ、福島南ロータリークラブ、福島西ロータリークラブ、二本松あだたらロータリークラブ、福島21ロータリークラブ

地区大会記念チャリティー 親善ゴルフ大会

10月19日(土) パーシモンカントリークラブ 参加費：5,000円

※地区大会、記念ゴルフ大会のご案内(登録用紙)は7月下旬に各クラブへ送付いたします。

月信委員会

《今月の表紙紹介》



(前列右から)
委員長 穴戸宏行(福島中央RC)
副委員長 菅野浩司(福島中央RC)
委員 有賀隆宏(郡山RC)

(後列)
委員 立花志明(福島北RC)



(撮影：福島しんたつ RC 池田卓也会員)

梅雨の合間に広がる青空を浄土平にて撮影しました。(撮影は、規制に伴う通行止め前の2018年6月)

間もなく、待ち望んだ磐梯吾妻スカイラインが再開通しますが、このような素晴らしい景色を変わらず見て、撮影できることを喜びたいと思います。

昨年の平井ガバナー年度に引き続き、芳賀ガバナー年度も月信委員を務めることになりました。地区の活動はもちろん、ロータクト、インターアクトの情報も紹介していきます。ロータリアン皆様からの情報もお待ちしております。1年間よろしく願いいたします。(穴戸宏行)

8月は「会員増強・新クラブ結成推進」月間です。